

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 5 年 11 月 16 日(2023.11.16)

【公開番号】特開 2023-63662(P2023-63662A)  
【公開日】令和 5 年 5 月 10 日(2023.5.10)  
【年通号数】公開公報(特許)2023-085  
【出願番号】特願 2021-173614(P2021-173614)  
【国際特許分類】  
A 6 3 F 7/02(2006.01)  
【F I】  
A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

10

【手続補正書】  
【提出日】令和 5 年 11 月 8 日(2023.11.8)  
【手続補正 1】  
【補正対象書類名】特許請求の範囲  
【補正対象項目名】全文  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【特許請求の範囲】  
【請求項 1】

20

所定の判定契機の成立に基づいて特定判定を実行する特定判定手段と、

前記特定判定の結果が特定結果となることに基づいて第 1 遊技状態より遊技者に有利な第 2 遊技状態に移行させることが可能な手段と、  
を備え、

遊技状態として、前記第 1 遊技状態より遊技者に有利なものであって前記第 2 遊技状態とは異なる第 3 遊技状態を有しており、

第 1 特定遊技の後に第 2 特定遊技が実行され、当該第 2 特定遊技の後に第 3 特定遊技が実行されることを可能とする第 1 手段と、

30

前記第 2 特定遊技で所定事象が発生した場合に当該第 2 特定遊技において前記第 3 遊技状態への移行契機が成立することを可能とする第 2 手段と、  
を備えていることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記第 1 特定遊技にて前記第 3 遊技状態への移行契機が成立しない又は前記所定事象が生じないように構成されており、

前記第 3 特定遊技にて前記第 3 遊技状態への移行契機が成立しない又は前記所定事象が生じないように構成されていることを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記第 1 特定遊技及び前記第 2 特定遊技では、前記所定事象を発生させることができる所定遊技が行われるように構成されており、

40

前記第 2 特定遊技で実行可能な前記所定遊技の回数が前記第 1 特定遊技で実行可能な前記所定遊技の回数より少ないように構成されていることを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記第 2 手段は、第 1 所定状態である状況で前記第 2 特定遊技にて前記所定事象が発生した場合に当該第 2 特定遊技において前記第 3 遊技状態への移行契機が成立することを可能とするものであり、

前記第 1 所定状態とは異なる第 2 所定状態である状況で前記第 2 特定遊技にて前記所定事象が発生した場合に当該第 2 特定遊技において前記第 3 遊技状態への移行契機が成立し

50

ないことを可能とする手段を備えていることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 のいずれかに記載の遊技機。

【請求項 5】

前記第 1 所定状態である場合において、前記第 1 所定状態に対応した所定報知が前記第 2 特定遊技にて行われることを可能とする手段を備えていることを請求項 4 に記載の遊技機。

【請求項 6】

所定の発射操作に基づいて遊技球を発射する発射手段と、

前記発射手段により発射された遊技球が入球可能な所定入球手段と、  
を備え、

10

前記所定入球手段に遊技球が入球可能又は入球が生じやすい第 1 状態と、前記所定入球手段に遊技球が入球不可又は前記第 1 状態より入球が生じにくい第 2 状態とを有しており、

前記第 1 状態である状況で前記第 1 特定遊技及び前記第 2 特定遊技、又は、前記第 1 特定遊技、前記第 2 特定遊技及び前記第 3 特定遊技が行われることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 5 のいずれかに記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【0 0 0 6】

本発明は、

所定の判定契機の成立に基づいて特定判定を実行する特定判定手段と、

前記特定判定の結果が特定結果となることに基づいて第 1 遊技状態より遊技者に有利な第 2 遊技状態に移行させることが可能な手段と、  
を備え、

遊技状態として、前記第 1 遊技状態より遊技者に有利なものであって前記第 2 遊技状態とは異なる第 3 遊技状態を有しており、

第 1 特定遊技の後に第 2 特定遊技が実行され、当該第 2 特定遊技の後に第 3 特定遊技が  
実行されることを可能とする第 1 手段と、

30

前記第 2 特定遊技で所定事象が発生した場合に当該第 2 特定遊技において前記第 3 遊技状態への移行契機が成立することを可能とする第 2 手段と、  
を備えていることを特徴とする。

40

50